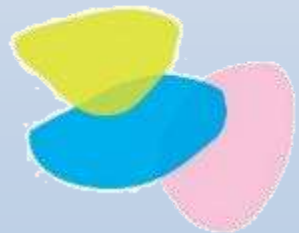


AMED ロボット介護機器開発等推進事業 令和6年度成果報告会

- 基調講演 -

「利用者、職員に選ばれる介護テクノロジーとは
～生産性向上に資するテクノロジー活用の現場から～」

2025.3.11 @ 丸の内 ホール&コンファレンス



共に生きる

社会福祉法人 友愛十字会

社会福祉法人友愛十字会

法人本部事務局 介護生産性向上推進室長

特別養護老人ホーム 友愛荘 施設長 鈴木 健太

自己紹介

鈴木健太

淑徳大学 社会福祉学部 社会福祉学科卒

●看護師 ●福祉用具専門相談員



2008年 砧ホーム 機能訓練指導員

2013年 // 介護主任

2015年 // 介護部長

2017年10月 // 施設長

2023年 4月 友愛荘 施設長

2011.10 福祉用具専門相談員

2015.3 介護リフト導入

2016.1 介護ロボット導入

2018.6 ICT記録ソフト導入

2019.12 ICTインカム導入

法人本部事務局 **介護生産性向上推進室長**

- 東京都 介護現場革新会議 委員
- 公益社団法人 **全国老人福祉施設協議会** ロボット・ICT推進委員会 幹事
- 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 **東京都高齢者福祉施設協議会** デジタル推進委員長
- 国立開発研究法人 **日本医療研究開発機構 (AMED)** 介護ロボットポータルサイト相談窓口アドバイザー
- 公益財団法人 **テクノエイド協会** 「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」モニター調査検討委員会 委員
- 公益財団法人 **東京都福祉保健財団** 次世代介護機器選定委員会 委員

友愛十字会 鈴木健太





令和5年度 介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰 授与式

令和5年8月24日 - 首相官邸 -

基本情報

ゆうあいじゅうじかい

- ◆ 社会福祉法人 友愛十字会
- ◆ 介護老人福祉施設
- ◆ 東京都世田谷区
- ◆ 利用者数:52名 従業員数:32名

※利用者数及び従業員数は令和5年2月1日時点

選考委員の総評

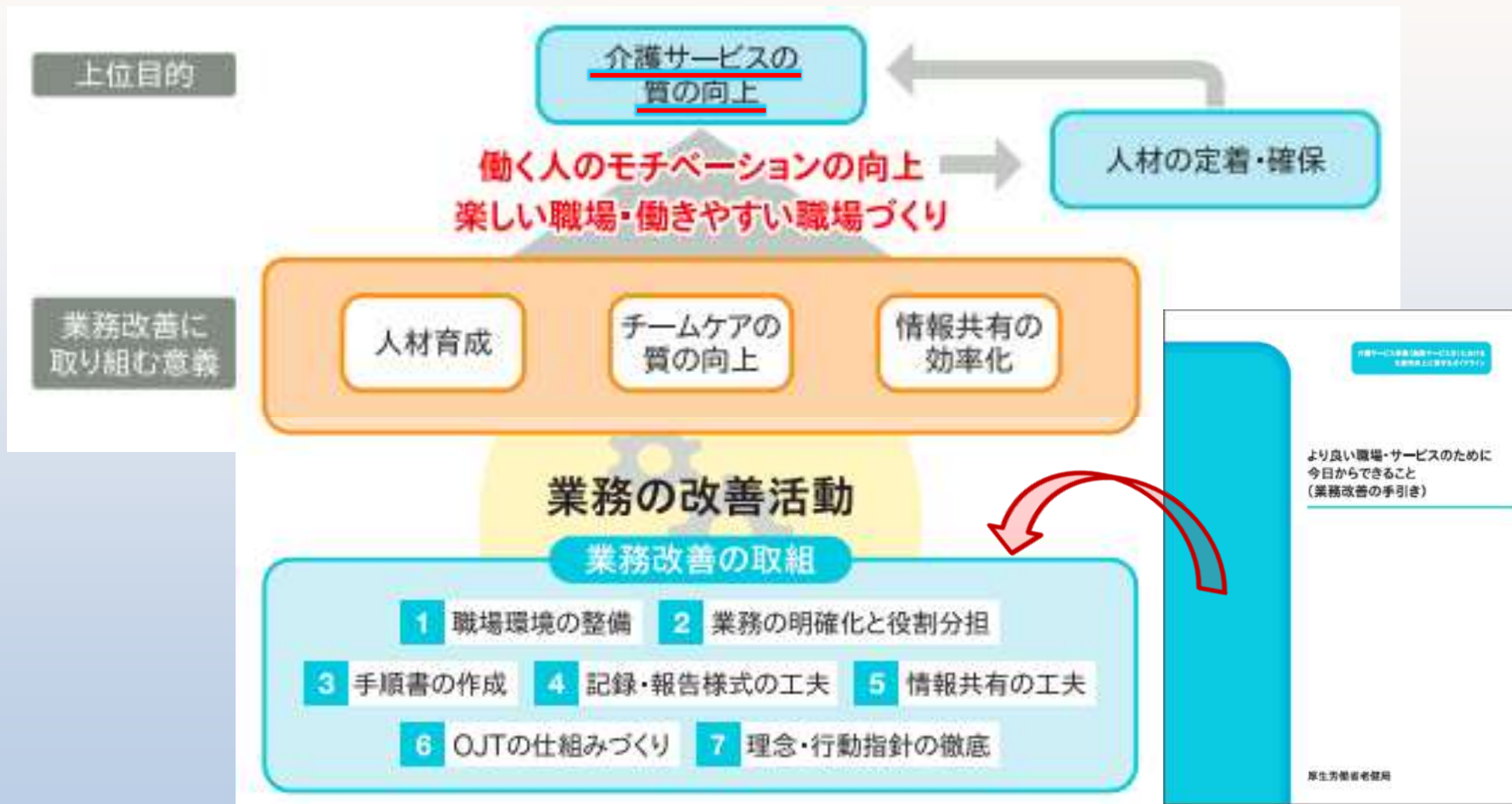
介護現場における生産性向上について、ガイドラインを有効活用することで、自施設の考えをうまく職員に浸透させており、他の模範となる取組といえる。



- 取組概要**
- **介護ロボットやICTの導入に先駆的に取り組み、見守りセンサーやインカム等のテクノロジーを効果的に活用することにより、過去6年間(平成29年4月～令和5年3月)に入職した常勤介護職員(10人)の離職者ゼロ、介護事故の発生件数の6割削減(平成30年度と31年度の比較)といった効果を生み出している。** ①
 - **平成30年度に厚生労働省が作成した「生産性向上に資するガイドライン」を施設運営のバイブルとし、当該ガイドラインの要素を自施設の事業計画に盛り込むなどにより、生産性向上に対する職員の理解を促しながら介護現場改革を推進するとともに、多職種協働原理(※)によるケアの質の向上に取り組んでいる。** ② ③
- ※介護職の質がケアの質に直結するという考えのもと、介護職をメイン職種と位置づけ、他職種が介護職をサポートすることで、その力を最大限引き出すという考え方

介護サービスの生産性向上の取り組み

「介護の価値を高める取り組み」



【出典】「介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドラン」（厚生労働省HP）より

① 職場環境の整備

取組前

取組後



② 業務の明確化と役割分担 (1) 業務全体の流れを再構築

介護職の業務が明確化されていない

業務を明確化し、適切な役割分担を行いケアの質を向上



② 業務の明確化と役割分担 (2) テクノロジーの活用

職員の心理的負担が大きい

職員の心理的負担を軽減

テクノロジー



③ 手順書の作成

職員によって異なる申し送り

申し送りを標準化



④ 記録・報告様式の工夫

帳票に何度も転記

タブレット端末やスマートフォンによるデータ入力（音声入力含む）とデータ共有



⑤ 情報共有の工夫

活動している職員に対してそれぞれ指示

インカムを利用したタイムリーな情報共有

テクノロジー



⑥ OJTの仕組みづくり

職員の教え方にブレがある

教育内容と指導方法を統一



⑦ 理念・行動指針の徹底

イレギュラーな事態が起こると職員が自身で判断できない

組織の理念や行動指針に基づいた自律的な行動



【出典】「介護サービス事業（施設サービス分）における生産性向上に資するガイドラン」（厚生労働省HP）より

見守り機器 (バイタル系)

× 全床導入 + 大型モニター

権利擁護



(設置例)

起床介助の 概念変容

DX

眠っている利用者を
起こす支援

起きている利用者を
活動につなげる支援

【効果】 ◎自立支援促進 ◎相互の負担軽減



移乗支援機器 (装着型)



あなた

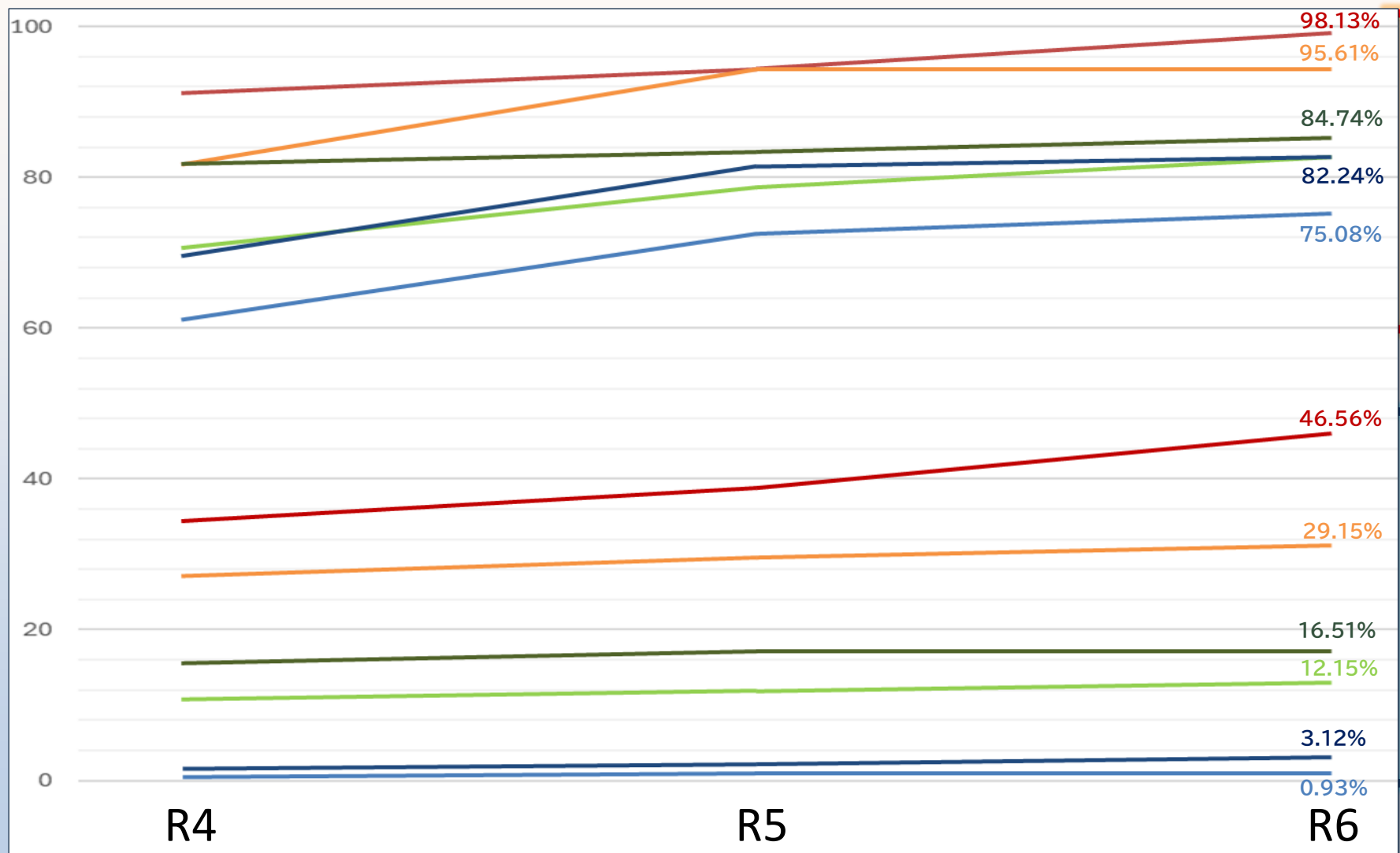
介助が上手く

なったね!



【効果】 ◎優しい介助 ◎職員の負担軽減

介護ロボット等への **関心率** と **導入率** の推移



関心率(上段)

- 見守り(バイタル)
- 見守り(カメラ)
- 移乗(装着)
- 移乗(非装着)
- 排泄(予測)
- 排泄(処理)

導入率(下段)

PwC様 資料1

PwC様 資料2

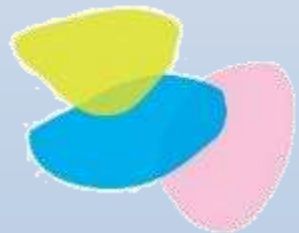
PwC様 資料3

AMED ロボット介護機器開発等推進事業 令和6年度成果報告会

- 基調講演 -

「利用者、職員に選ばれる介護テクノロジーとは
～生産性向上に資するテクノロジー活用の現場から～」

2025.3.11 @ 丸の内 ホール&コンファレンス



共に生きる

社会福祉法人 友愛十字会

終